

第27号 平成23年12月1日 発行  
(偶数月発行/年6回)

【発行者】

中国・四国中国帰国者支援・交流センター

社会福祉法人 広島県社会福祉協議会  
〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2  
TEL 082-250-0210  
FAX 082-254-2464  
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp



## 広島定着促進センター出身者交流会と社会見学会

9月29日(木)~30日(金)広島県の帰国者を対象に広島定着促進センター出身者交流会と社会見学会を開催しました。1日目の神戸社会見学では、坂の多い異人館街を元気に歩いて散策した後、人と防災未来センターを見学し、阪神・淡路大震災について学びました。避難所でも食べ物で争うことなく、助け合う姿に感心させられました。2日目の交流会では、当時の先生方と十数年ぶりに会い、思わず抱き合ったり、肩を組んで記念撮影したりと、待ちに待った再会にとっても嬉しそうでした。広島定着促進センター跡地は、現在、障害者支援施設という全く新しい建物になってはいたものの、当時の面影を探し懐かしそうに話す帰国者の姿がとても印象的でした。



## 広島県廿日市市避難所体験会

10月2日(日)広島県廿日市市で市民活動グループええじゃん主催の避難所体験会が開催され、当センター受講生とその家族たちが参加しました。一般市民、外国人(韓国、フィリピン)、ボランティア、マスコミ関係など様々な参加者がいる中、たどたどしい日本語ながらも積極的に活動に参加しました。他の参加者からは「初めて中国の人(帰国者)と話をした」「言葉が通じなくて困った」など、コミュニケーションの難しさと大切さを再認識したといった声が寄せられました。お互いに学びあう事ができ、有意義な時間を過ごすことができました。



## 広島県職場見学・交流会

10月5日(水)広島県の帰国者を対象に職場見学と交流会を開催しました。日本食研では、担当者から丁寧に工場内の生産ラインの紹介がありました。帰国者たちは、材料の自動倉庫や調味料の充填ラインの説明を聞き、じっくりと見学することができました。午後は、耕三寺を見学しました。雨にも関わらず、傘を持っていない人がいましたが、近くの商店の人が人数分の傘を貸してくださいました。おかげで無事に参拝することができ、地元の人々の温かさに帰国者たちは感激していたようです。



## 島根県防災相談説明会・交流活動教室

10月15日(土)島根県の帰国者を対象に防災相談説明会と交流活動教室を開催しました。相談説明会では、一般的な防災知識に加え、今最も関心が高く、島根の帰国者にとっては身近な問題でもある、原子力発電についても説明を受けました。交流活動教室では、和菓子作りと勾玉作りの体験をしました。講師が日本文化について話しながら教えてください、日本の伝統に触れることができました。島根県は元々世帯数が多いので参加者は少なかったものの、盛り沢山な内容で、みなさんは充実した一日を過ごせたようです。



## 芸達者さん大募集!

中国帰国者支援・交流センターでは、高齢者施設の訪問を計画しています。身近な施設を見学し、利用者との交流会を行いたいと思っています。帰国者の中で、歌、楽器、舞踊など、披露できる一芸をお持ちの方はセンターまでご一報ください!



## 中国帰国者秧歌隊in広島合同リハーサル交流会



11月4日(金)広島県と高知県の秧歌隊のメンバーを対象に中国帰国者秧歌隊 in 広島合同リハーサル交流会を開催しました。前半は翌日のシンポジウムの本番に備え、当日の舞台担当者立ち会いのもと、舞台での動きやそれぞれで練習してきた振付けの最終確認を行いました。後半は広島の帰国者による手作り料理で高知の帰国者をもてなしました。秧歌の練習は4時間にもおよび、交流会ではその疲れを感じさせないほどの盛り上がりようで、みなさんのパワーに圧倒されました。

## 学習発表会

日頃の学習成果を発表する、年に1度の学習発表会ですが、今年は、広島県民文化センターで帰国者に関わる大きなイベントと合同で行いました。11月2日(水)~6日の「第2回日中文化芸術交流展」では、センター受講生だけでなく、中四国地域の帰国者の作品も展示し、大勢の人に見て頂くことができました。11月5日(土)の「中国残留邦人等への理解を深めるシンポジウム」では、ステージで秧歌舞踊、太極拳、日本の歌を披露しました。450人もの来場者の前でとても緊張していましたが、この日に向けての練習が実を結び無事にやり遂げることができました。



## 中国帰国者支援者研修会



11月5日(土)・6日(日)中国・四国ブロックの中国帰国者支援者を対象に研修会を開催しました。1日目はシンポジウムの観覧と会場での帰国者補助を行いました。「情報交換できる場がほしい」という支援者の声に応え、1日目の研修終了後、情報交換会を行い、有意義な意見交換の場となりました。2日目は京都から講師を招き、医療通訳研修会を行いました。グループワークや、ロールプレイングを取り入れた受講者参加型の研修は、現場に即した実践的な練習になり、とても好評でした。

## 中四国地域の活動報告 ~岡山県帰国者友の会「平成23年度自立促進研修」~

10月30日(日)岡山県帰国者友の会の「平成23年度自立促進研修」が開催され、当センター職員が講師として招かれました。今年は、香川県の栗林公園で、今関心の高い防災についての研修を行いました。この研修は、岡山県帰国者友の会が主催し、岡山県庁が全面的に協力して毎年行っており、例年150人ほどの帰国者が参加します。このように、岡山県では県庁、市役所をはじめ、帰国者や支援者が協力し、様々な事業が活発に行われています。



## 12月・1月の予定

12月3日 防災相談説明会・社会見学会 [徳島県・香川県]

### 投稿募集

あなたも「七色花」に記事を書いてみませんか? みなさんからの投稿を募集しています。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありま〜す、など何でもかまいません。原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。みなさまからの記事をお待ちしています。

### 編集後記

私の好きな中国語に「有縁」という言葉があります。今までの出会いの中で、疎遠になってしまった人でも「有縁」だったら必ず再会できるそうです。中国四国各地でたくさんの帰国者のみなさんと出会い、温かく熱烈に私たちを迎えてくださる人もいます。きっと「有縁」なのですね。一方、私の行く先にはいつも雨雲がついて来ます。この縁はお断りしたい今日この頃です。(田中)





## 广岛定着促进中心结业者交流会·社会观摩会

9月29日(周四)~30日(周五)以广岛县归国者为对象举办了广岛定着促进中心结业者交流会及社会观摩会。第1天在神户以社会观摩为目的,走访了坡道崎岖的异人馆,其后又去了人与防灾未来中心进行了参观学习。阪神·淡路大地震发生后,不但没有发生食物争夺,大家还能够相互扶持,令各位归国者感慨万分。第2天的交流会上,与久别十多年的老师再度重逢,大家忍不住与老师相拥在一起,纷纷拿起各自的相机与老师合影留念。这次的重逢对大家而言可谓期盼已久。原广岛定着促进中心的旧址上,已经改建为残疾人支援设施。大家凭着各自的记忆,一起追忆着往昔的情形令人难忘。



## 广岛县廿日市市避难所体验会

10月2日(周日)在广岛县廿日市市,带领中心的学员及其家属一起参加了由当地的市民活动俱乐部「ええじゃん」举办的避难所体验会。当天与会者既有普通市民、还有外国人(韩国·菲律宾)、志愿者以及新闻媒体等方方面面的人士。归国者的日语虽然说的不是十分流畅,但是每个人都积极踊跃的参与在这次活动中。通过这样的活动,让在场的日本人重新审视了语言交流的难度和重要性,不少人还提到「还是初次与中国人(归国者)交流」以及「语言不通真是困难」。大家通过相互学习,一起度过了一段有意义的时间。



## 广岛县企业观摩·交流会



10月5日(周三)以广岛县的归国者为对象举办了本次企业观摩和交流会。在日本食研,由担当工作人员认真的介绍了工厂内的生产流水线。通过对自动仓库以及调料填充流水线等的说明,让各位归国者有了一次宝贵的学习机会。下午,和大家来到了耕三寺。刚好赶上上下小雨,不少人都没有带伞,下车后附近的店主拿出大批的雨伞借给大家。因此在整个参拜过程都没有人被雨淋湿,当地居民的温情令各位归国者暖在心头。

## 岛根县防灾咨询说明会·交流活动教室



10月15日(周六)以岛根县的归国者为对象举办了防灾咨询说明会和交流活动教室。通过这次咨询说明会,一起来学习了近来大家都非常关心的有关原子能发电站的基础知识。在下午的交流活动教室中,学做了和式点心以及勾玉。老师一边教大家做,一边向大家介绍了当地的传统文化,使每位参加者有了切身的感受。居住在岛根县的归国者人数本身不多,因此活动的参加人数也不多,但是活动内容非常的丰盛,所以说这一天非常的充实。

## 征集多才多艺的归国者!



中国归国者支援·交流中心正在计划举办访问高龄者设施的活动。希望大家一起去附近的老人设施参观学习,与设施的利用者一起举办交流会。为此征集归国者朋友中有一技之长的人!无论是演唱还是乐器演奏、或者是舞蹈等都大力欢迎!希望一展其艺者请与中心联系!

## 中国归国者秧歌队in广岛集体彩排交流会



11月4日(周五)以广岛县和高知县的归国者为对象举办了中国归国者在广岛集体彩排交流会。高知的归国者赶到广岛后,马上就投入到彩排中,为了保证第2天专题论坛会的顺利进行,会同舞台担当,对舞台动作进行了最终的确认。之后,由广岛归国者亲手烹制了各式菜肴招待了远道而来的高知贵宾。虽然经历了4个多小时的彩排,但是在交流会上完全看不到大家的倦容,整个交流会的气氛十分的热烈,大家的热情真是令人折服。

## 学习发表会

为了展示日常的学习成果,中心每年举办1次学习发表会。今年恰好在广岛县民文化中心召开了有关归国者的大型活动,中心的学习发表会借此机会进行了联办。在11月2日(周三)~6日(周日)的「第2回日中文化艺术交流展」上,不仅展示了中心的学员作品,还同时展出了中四国地区的部分归国者作品,得以向众多的来宾进行了展示。在11月5日(周六)的「为加深对在中国残留邦人等理解的专题论坛会」上,在舞台上表演了扭秧歌、太极拳和日语歌谣演唱。在450名来宾前进行发表,每位演出者都非常紧张,但是靠着大家平时不懈的努力和练习,表演非常的成功和出色。



## 中国归国者支援者研修会



11月5日(周六)·6日(周日)以中国·四国地区的支援者为对象举办了这次研修会。第1天的内容是参加专题论坛会以及在帮助会场上有需要的归国者。由于不少支援者一直提到「希望能够有情报交流场地」,所以在第1天的研修结束后,又进行了情报交流会,大家踊跃的提出各种意见和建议。第2天邀请来自京都的讲师,举办了医疗翻译研修会。通过分小组活动以及实际演习等多种方式,让每一位参加者都能够参与这次研修中,得到了大家的好评。

## 中四国地区的活动报告 ~冈山县归国者之友会「平成23年度自立促进研修」~

10月30日(周日)在香川县栗林公园,由冈山县归国者之友会举办了「平成23年度自立促进研修」,会上邀请了本中心的职员为讲师,进行了近来大家关心程度较高的防灾研修。研修是在冈山县的大力协助下,由冈山县归国者之友会来主办。每年都至少有150名左右的归国者来参加。就这样通过县厅以及市役所,还有归国者和支援者的相互协助,大家一起联手来举办着各种各样的活动。



## 12月·1月预定

12月 3日 防灾咨询说明会·社会观摩会 [德岛县·香川县]

### 征集投稿

您不希望把自己的文章登载在「七色花」上吗?在此向大家征集稿件,内容不限,可以是日常生活琐事,也可以是追忆往昔,或者是介绍专项所长。原稿的字数限400字以内,投稿可直接送到中心,或者是通过邮寄、传真均可。

期盼大家积极踊跃的投稿!

### 编辑后记

我非常喜欢「有缘」这句中国话。在这些年的交往中,和有的人不知不觉中渐渐的疏远了,但是我相信如果「有缘」还会再相逢。通过工作,与中国四国各地区许多的归国者相识,其中不少归国者敞开心扉热情的欢迎我们,相信这一定是因为「有缘」。

另一方面,我走到哪,哪里就会有云雨跟来。今天借着这个机会我想与这份缘说再见。(田中)